

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	沼津市			代表者名	頼重 秀一
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	政策推進部ICT推進課	連絡先電話番号	055-934-2544
担当者役職	主任	担当者氏名	田川 太悠	連絡先E-mail	
住所	410-8601 静岡県沼津市御幸町				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	沼津市DX推進事業アドバイザー会議
概要	沼津市DX推進事業（市民の利便性向上と業務の効率化）に係る助言		
支援を求める分野	計画策定支援 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年6月17日	支援・助言(実地)	13時00分	15時40分	
				活動時間（分）	160
2-2. 派遣場所	会場名	沼津市役所	最寄駅	沼津駅	
	所在地	静岡県沼津市御幸町16-1	最寄駅からの交通手段	徒歩もしくは送迎	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 浩之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本市で今年度行う事業と今後展開していく予定の事業について、総合的なアドバイスをいただいた。それぞれの事業を進めて行く中で、意識しておくべき部分や、それぞれの取組の連携を考慮したスケジュール作成など、見落としがちな点についてご指摘いただき、実際に進めて行く具体的な手順を想像することができたと感じた。 また、実際に庁舎内を視察いただくことで、主に窓口において改善すべき点も指摘していただいた。外部の方の目線で見えていただくことで、職員にとっては当たり前感じていたことでも変えていくことで窓口の利便性を向上させることができるということに気付くことができた。
アドバイザーへの要望事項	本市のDX推進事業について、無駄なく効率的な取組を行っていただくため、引き続きアドバイスをお願いしたいです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	5人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	5	0	0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	本市では、本年度からキャッシュレス決済の導入等による窓口サービスの向上、職員用ビジネスチャットの利用や庁内の各種申請等の手続き業務の効率化を実施・検討しています。それらの取組の今後の展開や、次年度以降に実施を検討している他の取組との連携をどのように考えていけばいいのか、専門的な立場から他自治体の事例を含んだ助言をいただくことで、本市に合った形でより効果的な事業展開をしていけたらと考えています。				
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市民向けのサービス向上のための取組と、職員向けの内部的な取組を、バランスよく、なおかつ適切に連携した形での実施方法を検討し、確立して行きたいと考えている。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）					

<p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>本市において、本年度及び次年度以降実施を検討している事業内容についてのアドバイスをいただいた。 <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済の推進 QR決済からのスタートは良いと思う。手数料等を考慮しつつ、他の決済方法の導入を検討していくべきと考える。市役所は現金で支払うというイメージが定着しているため、すぐには広がらない。長い目で見て続けていく必要がある。 ・先端技術の活用 まずは職員がAIに慣れること。AI技術は異様なスピードで進歩しているので、慌てて新しいものに飛びつく必要はないが、今のサービスをすぐに切り替えられるようにしておくが良い。RPAについては「過渡期のシステム」と呼ばれ、今後はシステム自体にRPAと同じ機能が搭載されていくと考えるため、そこまでの注力は必要ないのでは。 ・会議室への安定した通信環境の整備、公衆Wi-Fiの整備 昨年度も指摘したと思うが、まず有線である必要はあったのか。また、Wi-Fiについては、市民からのニーズはあまりないと考える。また、悪用を防ぐため認証は必須である。 ・働き方改革 まず、リモートワークが沼津市にフィットするかを検討する。また、RDSの場合は自席端末のセキュリティを考慮すること。フリーアドレスなどもそうだが、とにかく紙文化を全て排除できない。結局リモートできない等で元に戻ってしまう可能性もある。完全ペーパーレスには10年近くかかるがやり遂げること。 ・業務の効率化 内部的なツールについては、粘り強く使い倒していくことが大切。 ・その他の取組 スマート窓口については、1課だけにとどまらず、全窓口で導入すべき。また、オンライン申請については、書かない窓口とオンライン申請の仕組みを同じものにする事で、担当課の手間が増えることなく導入できる。必ず一本化すること。 情報発信媒体の一括管理については、常に付きまとうのが「誰がやるのか問題」。個人的には広報がコントロールすべきではないかと考える。また、各課から集めた情報を各発信媒体に振り分けるシステム等もあるので、活用したらどうか。 各種申請をWeb上で完結させたいということについては、添付書類をどうするか、一つ一つ確認して潰していく必要がある。どうしても残ってしまうものは出てくると思う。 </p>
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>本市の事業計画について助言いただいただけでなく、実際に庁舎内を見ていただいた上で、他自治体の事例等交えて改善点等お示しいただいたことで、職員の目線では気付かなかったことに気付いたり、今後進んでいくべき方向性について、具体的な考えを持つことができた。</p>
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 事業全体についての助言のため、具体的な成果物はない。</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>特になし</p>
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者が少人数かつ全て担当部署の職員であるため。</p>
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ②次年度に予算化を図り推進する 今回助言をいただいた内容を今年度及び次年度以降実施(予定)の事業に取り入れていくことで、無駄のない事業展開を目指す。また、既に実施済みのものの活用や、新規事業との連携も考慮したスケジュールを作成し進めて行く。</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>デジタル化による市民サービスの更なる向上と、庁内業務の効率化を密に連携して進めて行くことで、来る人口減少に備えた、効率的で誰も取り残されることのない社会を目指していく。</p>
<p>5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可</p> <p>掲載許可 <input type="checkbox"/> 掲載可 <input type="checkbox"/></p> <p>https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</p>	
<p style="text-align: center; color: red;">なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>	
<p>6. 地域情報化アドバイザー支援の様子</p> <p>今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。</p>	

具体的にご記入下さい。支援を受けた事業が成
因(自治体側に内在して

具体的にご記入下さい。支援を受けた事業が成
因(自治体側に内在して